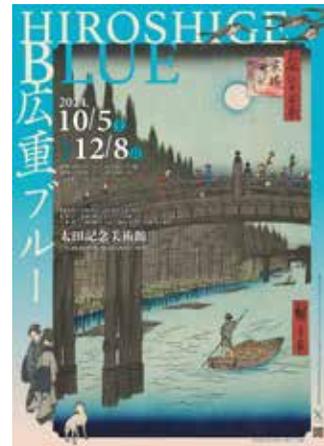


広重ブルー

2024年10月5日（土）～12月8日（日）

前期 10月5日（土）～11月4日（月・祝）

後期 11月9日（土）～12月8日（日） ※前後期で全点展示替え



風景画の巨匠、歌川広重（1797～1858）。その作品は今も高い人気を誇りますが、とりわけ空や海の深く美しい青が印象的です。これは1830年頃から浮世絵に用いられたペロ藍（プルシアンブルー、ベルリンブルーとも）と呼ばれる青色の絵具によるもの。その美しさに触発されさまざまな絵師がペロ藍を使って風景画を描きます。当時30代半ばの広重もまたそのひとり。広重は、ペロ藍との出会いから風景画に開眼すると、刻々と変わる空模様や水面を繊細に表現し、人気絵師への階段をのぼっていきます。その後も晩年にいたるまで詩情あふれる名作を続々と生み出し、浮世絵界に不動の地位を築いていきました。

本展では広重のペロ藍を用いた名作の数々を中心にご紹介し、国内外で愛され続ける広重の青の魅力に迫ります。

みどころ① ペロ藍で開眼 風景画の名品がずらり

広重の風景画における最初のヒット作「東都名所」（「一幽齋がき東都名所」）から出世作である「東海道五拾三次之内」（保永堂版）、晩年の大作「名所江戸百景」シリーズまで、美しい青に彩られた名作の数々をご紹介します。

みどころ② 浮世絵界の青の時代

鮮やかな青を再現するペロ藍は葛飾北斎や溪斎英泉、歌川国芳など多くの絵師を魅了しました。風景画の傑作、北斎「富嶽三十六景」シリーズをはじめ、ペロ藍の流行を背景に生まれた作品もご覧いただけます。

みどころ③ ペロ藍と出会う以前の作品もご紹介

風景画を多く手掛ける以前、広重は美人画や役者絵、武者絵を描いていました。ペロ藍が登場しなければ広重はどんな絵師になっていたのか？そんなことを思いながらご覧いただくのも楽しいのではないのでしょうか。

ホイットスラー「ノクターン…青と金色」オールド・バッテリー・ブリッジ
 (イギリス、テート・ギャラリー)に影響を与えた1点



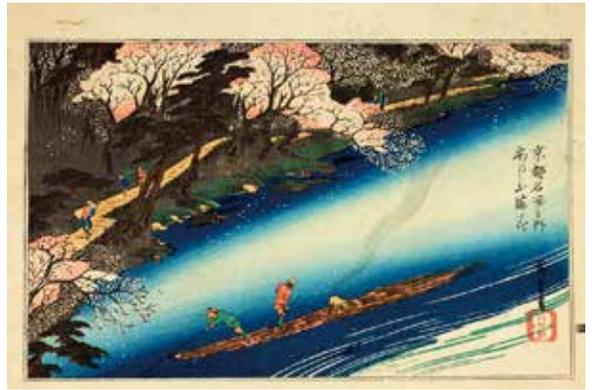
① 歌川広重「名所江戸百景 京橋竹がし」(前期展示)



② 歌川広重「名所江戸百景 猿わか町よるの景」(後期展示)



(3) 歌川広重「東都名所 高輪之明月」(前期展示)



(4) 歌川広重「京都名所之内 あらし山満花」(後期展示)



(5) 歌川広重「四季江都名所 夏南国之月」(前期展示)



(6) 歌川広重「菅に鴨」(後期展示)



(7) 歌川広重「月に兎」(前期展示)



(8) 葛飾北斎「富嶽三十六景 相州梅沢左」(後期展示)



(9) 歌川国芳「東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺望」(前期展示)



(10) 歌川広重「初代中村大吉の清盛の乳人八条局」と初代中村芝翫の安芸守平清盛」(後期展示)

学芸員によるスライドトーク

展示の見どころを担当学芸員が解説します。

2024年10月8日(火)、10月16日(水)、10月24日(木)
11月13日(水)、11月22日(金)、11月26日(火)

各回11:00より 約30分程度 定員50名

当日10:30より美術館受付にて整理券を配布します。

タイトル 広重ブルー

英タイトル HIROSHIGE BLUE

会期 2024年10月5日(土)～12月8日(日)

前期 10月5日(土)～11月4日(月・祝)

後期 11月9日(土)～12月8日(日) ※前後期で全点展示替え

開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)

休館日 月曜日(10/14、11/4は開館)、10/15、11/5-11/8(展示替えのため)

入館料 一般1000円 大高生700円 中学生以下無料

アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式Twitter @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail om@ukiyoe-ota-muse.jp

展示担当: 赤木美智 広報担当: 金塚さくら



太田記念美術館
公式サイト



画像申請・取材
の申込はこちら